



ソフトボール

日本悲願



宿敵米国に3-1 32年ぶり 球技で快挙



【北京21日共同】北京五輪第14日の二十一日、ソフトボールは決勝を行い、日本が米国を3-1で破り、悲願の金メダルを獲得した。

【北京21日共同】北京年の東京大会のバレーボール女子、七二年のミュンヘン大会のバレーボール男子、七六年のモントリオール大会のバレーボール女子以来で、32年ぶり4度目の快挙となった。日本の金メダルは今年

の東京大会のバレーボール女子、七二年のミュンヘン大会のバレーボール男子、七六年のモントリオール大会のバレーボール女子以来で、32年ぶり4度目の快挙となった。日本の金メダルは今年

大会9個目。日本は三回、狩野亜由美（豊田自動織機）の内野安打で1点を先制。四回には山田恵里主将（日立ソフトウエア）がソロ本塁打を放ち、リードを広げた。前日、2試合連投で21回を1人で投げ抜いたエースの上野由岐子（ルネサス高崎）は1失点で完投し、五輪3連覇中。今大会でも2度の敗戦を喫していた世界最強の米国を退けた。ソフトボールは二〇一二年のロンドン大会で実施競技から除外されることが決まっており、一六年大会での復活を目指している。

米国戦で力投する上野＝豊台ソフトボール場（共同）